

2 子どもの生活の状況

(1) 起床・就寝時間

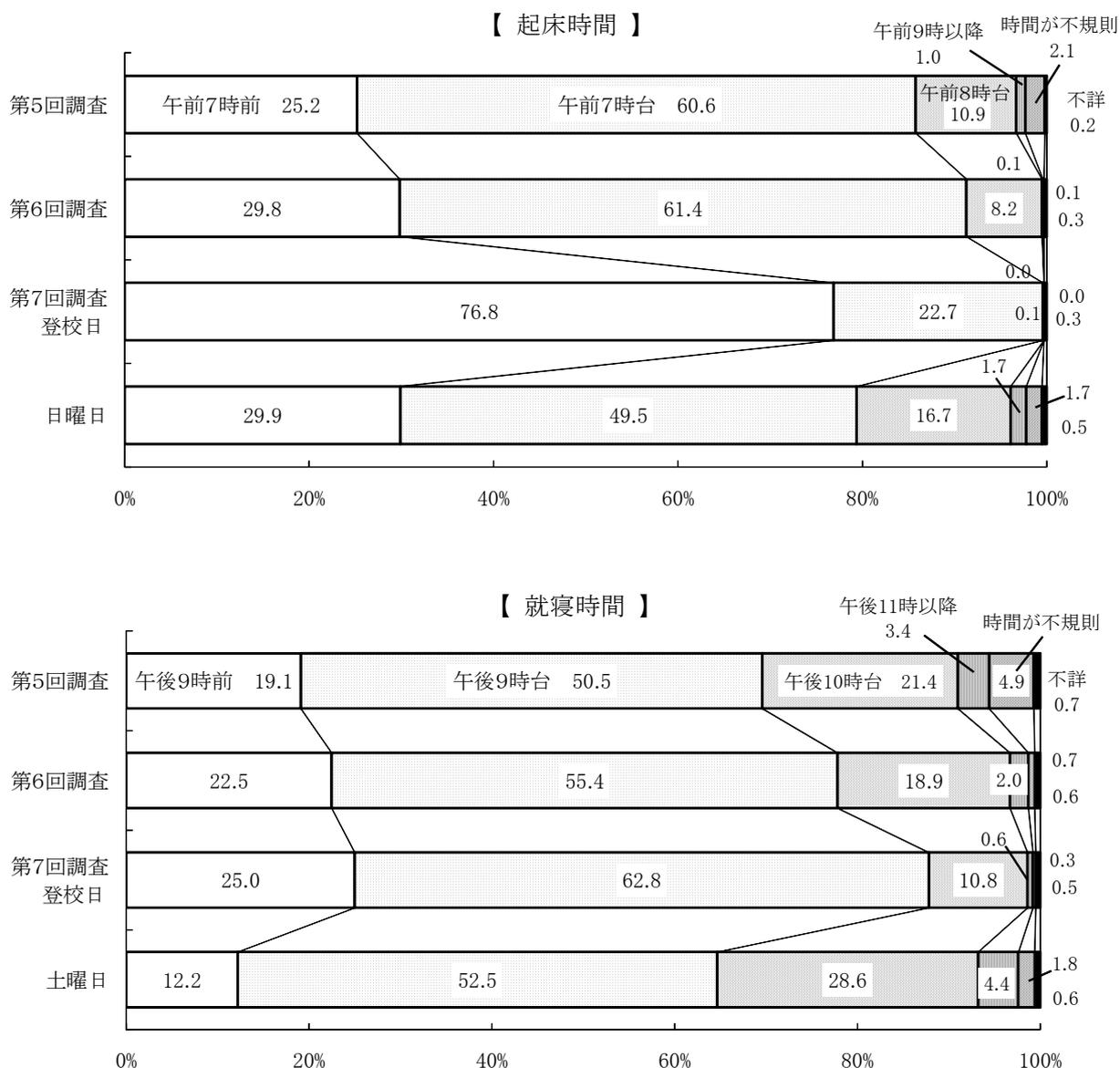
ア 起床・就寝時間

登校日の起床時間は午前7時前が76.8%、就寝時間は午後9時台が62.8%。

第5回調査以降の子どものふだんの日（第7回調査は登校日）の起床・就寝時間について第6回調査と第7回調査の割合を比較すると、起床時間では午前7時前が29.8%から76.8%と増加している。同様に就寝時間の割合では午後9時台で55.4%から62.8%と増加している。

第7回調査の日曜日の起床時間・土曜日の就寝時間を登校日と比較すると、起床時間・就寝時間ともに遅い時間帯の割合が登校日より多くなっている。（図7）

図7 子どもの起床・就寝時間



注：1）第5回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数 34,835）を集計。

2）第5回調査と第6回調査は「ふだんの日」の状況である。

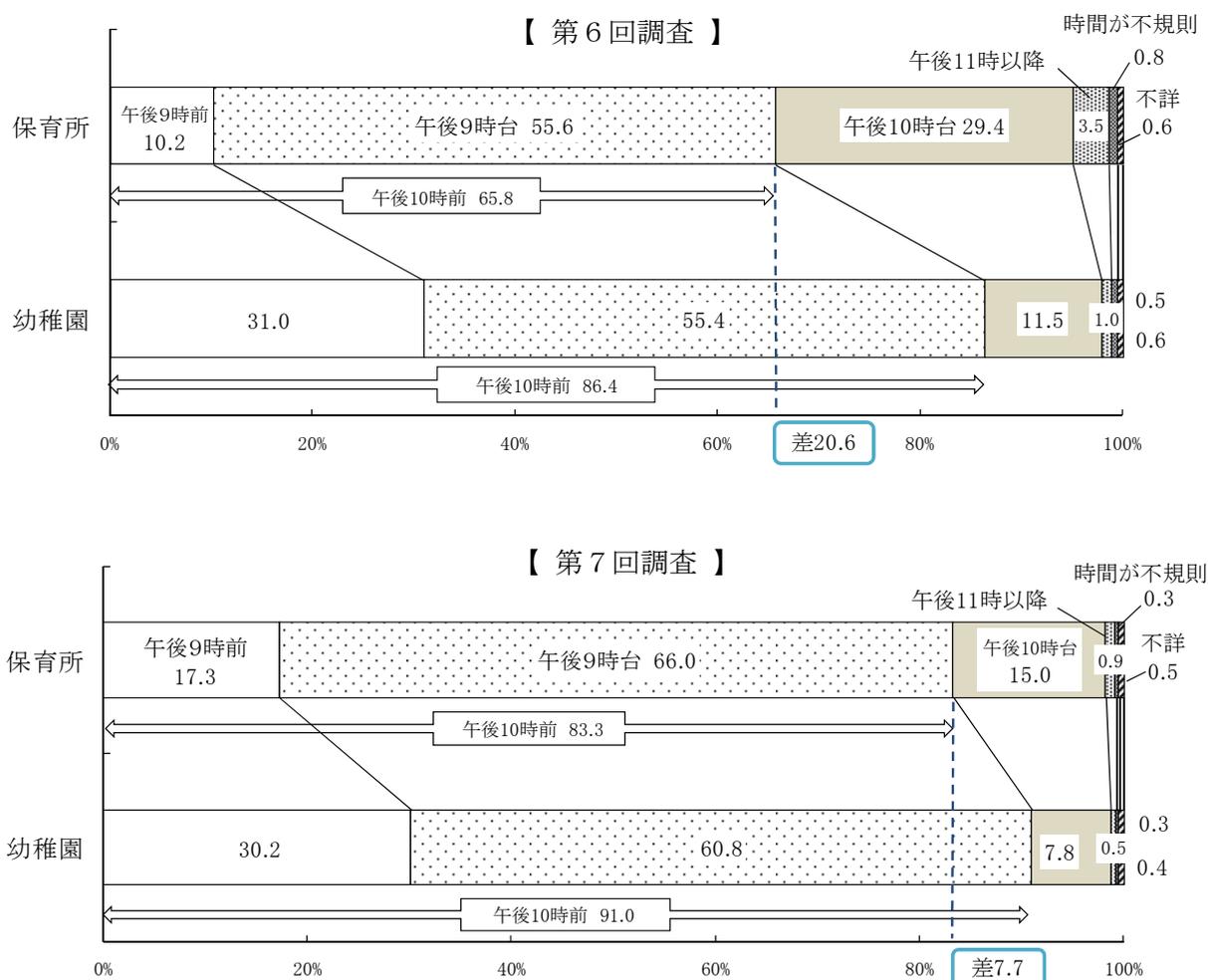
イ 通園状況と就寝時間

就寝時間は保育所に通っていた子、幼稚園に通っていた子ともに第6回調査より早くなっている。

第5回調査の通園状況別に午後10時前に就寝する割合をみると、第6回調査では保育所に通っていた子は65.8%、幼稚園に通っていた子は86.4%、その割合の差は20.6ポイントとなっている。

同じく第7回調査の割合をみると、保育所に通っていた子は83.3%、幼稚園に通っていた子は91.0%、その差は7.7ポイントと就寝時間の差は小さくなっており、第7回調査（小学校）になると、就寝時間が早くなっている。（図8）

図8 第5回調査の通園状況別にみた子どもの就寝時間



- 注：1）第5回調査から第7回調査まで回答を得た者（総数34,835、「保育所」13,322、「幼稚園」17,814）を集計。
 2）第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。
 3）第6回調査は「ふだんの日」、第7回調査は「登校日」の状況である。

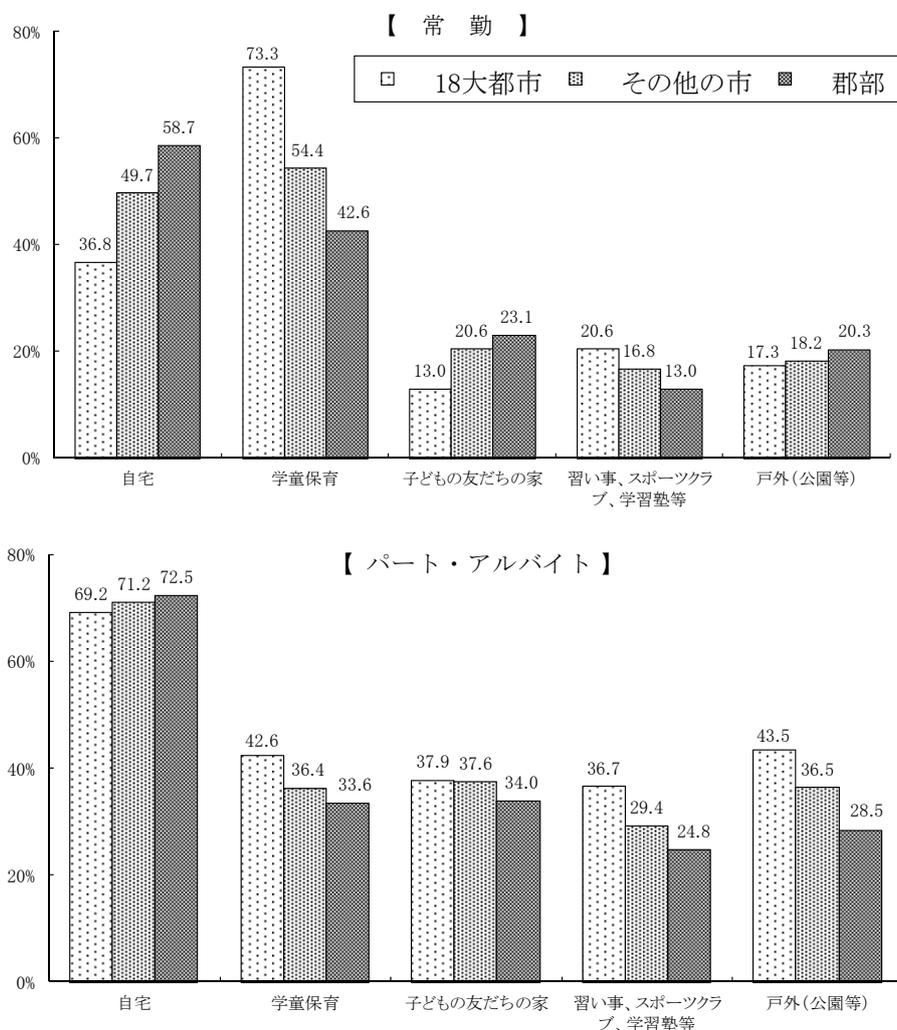
(2) 放課後のようす

放課後に過ごす場所では18大都市の場合、母が「常勤」の子は「学童保育」、「パート・アルバイト」の子は「自宅」が最も多い。

ふだんの下校から午後6時頃までの間に過ごす場所（複数回答）について、母の就業状況、市郡別にみると、母が「常勤」の子の場合、「18大都市」では「学童保育」が73.3%と最も多く、次いで「自宅」36.8%、「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」20.6%の順となっている。「郡部」では「自宅」が58.7%と最も多く、次いで「学童保育」42.6%、「子どもの友だちの家」23.1%の順となっている。

「パート・アルバイト」の子の場合、「18大都市」では「自宅」が69.2%と最も多く、次いで「戸外（公園等）」43.5%、「学童保育」42.6%の順となっている。「郡部」では「自宅」が72.5%と最も多く、次いで「子どもの友だちの家」34.0%、「学童保育」33.6%の順となっている。（図9）

図9 母の就業状況、市郡別にみた放課後に過ごす場所（複数回答）



- 注：1) 母と同居している、第7回調査の回答を得た「常勤」の者（総数6,306）、「パート・アルバイト」の者（総数11,040）をそれぞれ集計。
 2) 調査対象児の第7回調査時における住所地は以下のとおりである。
 「18大都市」：東京都区部、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
 「その他の市」：18大都市以外の市
 「郡部」：18大都市、その他の市以外
 3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

(3) 習い事等

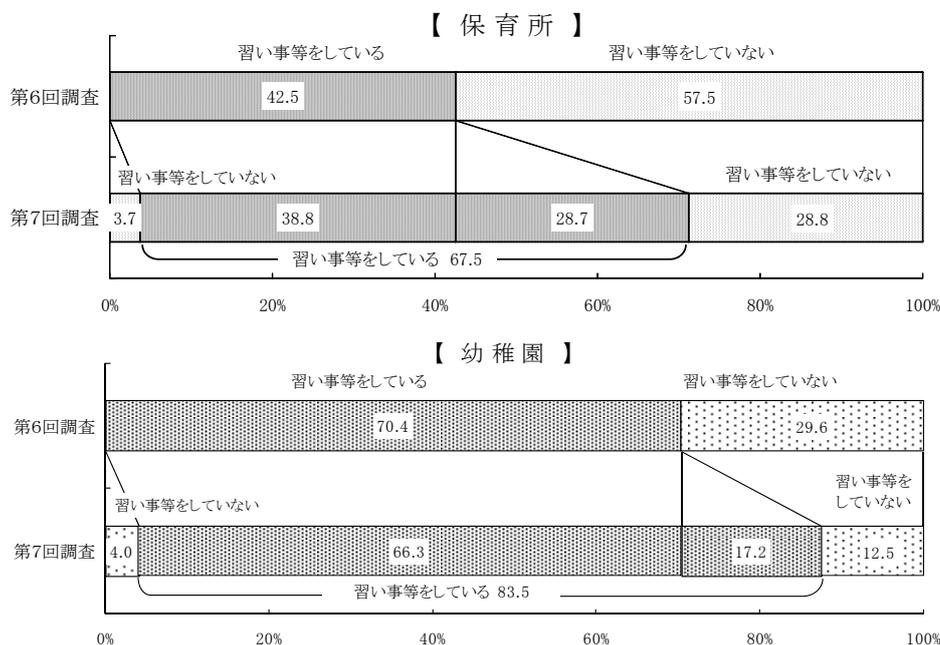
習い事等をしている子は保育所に通っていた子で 67.5%、幼稚園に通っていた子で 83.5%。

男児は「水泳」、女児は「音楽(ピアノなど)」が最も多い。

第5回調査の通園状況別に習い事等の変化をみると、保育所に通っていた子では「習い事等をしている」割合は 67.5%で、そのうち第7回調査から「習い事等をしている」とした子が 28.7%となっている。幼稚園に通っていた子では「習い事等をしている」割合は 83.5%で、そのうち第7回調査から「習い事等をしている」とした子が 17.2%となっている。(図 10)

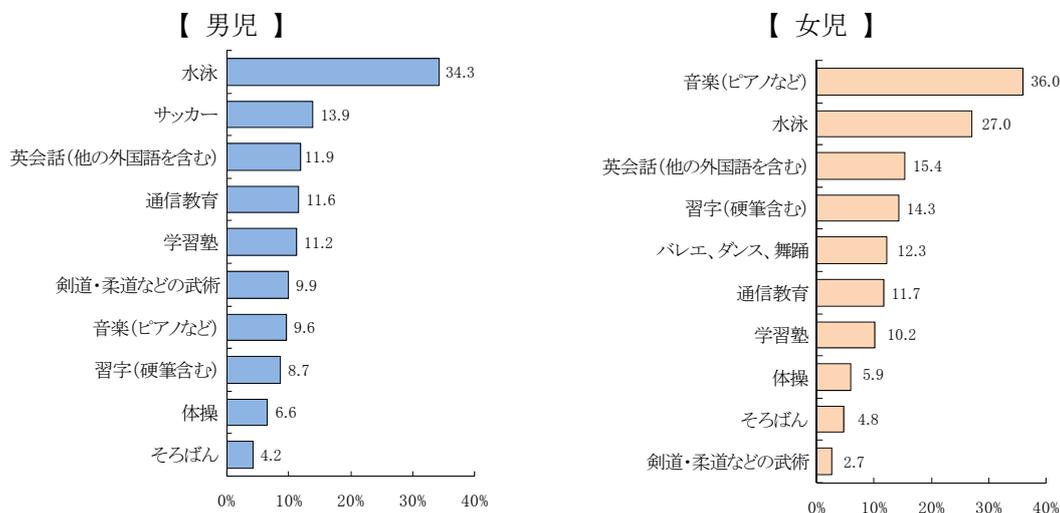
性別に習い事等の種類(複数回答)をみると、男児では「水泳」が 34.3%、女児では「音楽(ピアノなど)」が 36.0%と最も多くなっている(図 11)。

図 10 第5回調査の通園状況別にみた習い事等をしている子の変化



注：1) 第5回調査から第7回調査まで回答を得た、第6回調査と第7回調査の「習い事等」の回答を得た者(総数34,624、「保育者」13,235、「幼稚園」17,709)を集計。
2) 第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。

図 11 性別にみた習い事等の種類(上位10種類、複数回答)



注：第7回調査の回答を得た者(総数 36,785(男児 19,088、女児 17,697))を集計。

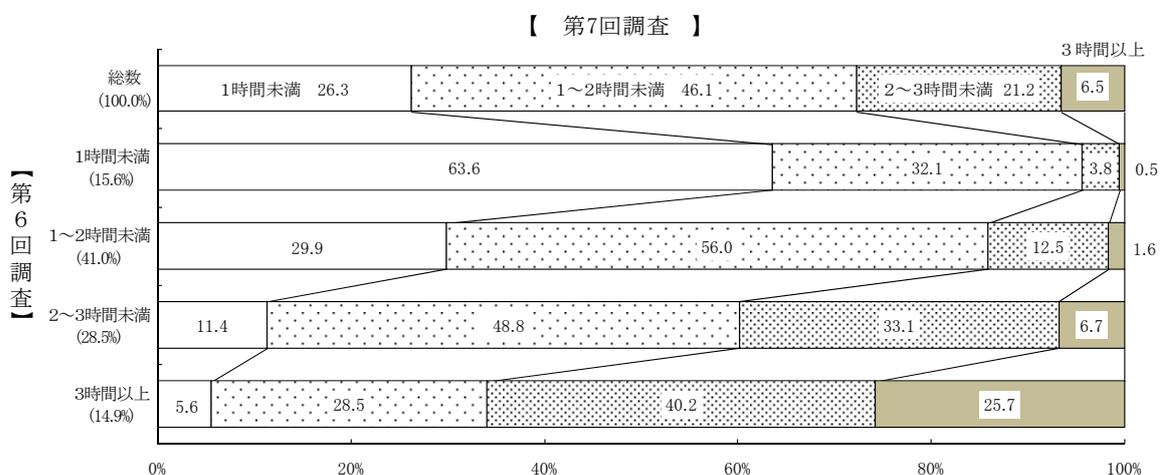
(4) テレビ

第6回調査と第7回調査でテレビを見る時間の変化をみると、テレビを見る時間は「1～2時間未満」以上で短くなっている。

登校日にテレビ（ビデオ、DVDを含む）を見る時間を第6回調査（ふだんの日）の時間別にみると、「1時間未満」では「1時間未満」が63.6%、「1～2時間未満」では「1～2時間未満」が56.0%、「2～3時間未満」では「1～2時間未満」が48.8%、「3時間以上」では「2～3時間未満」が40.2%と最も多くなっており、テレビを見る時間は「1～2時間未満」以上で短くなっている（図12）。

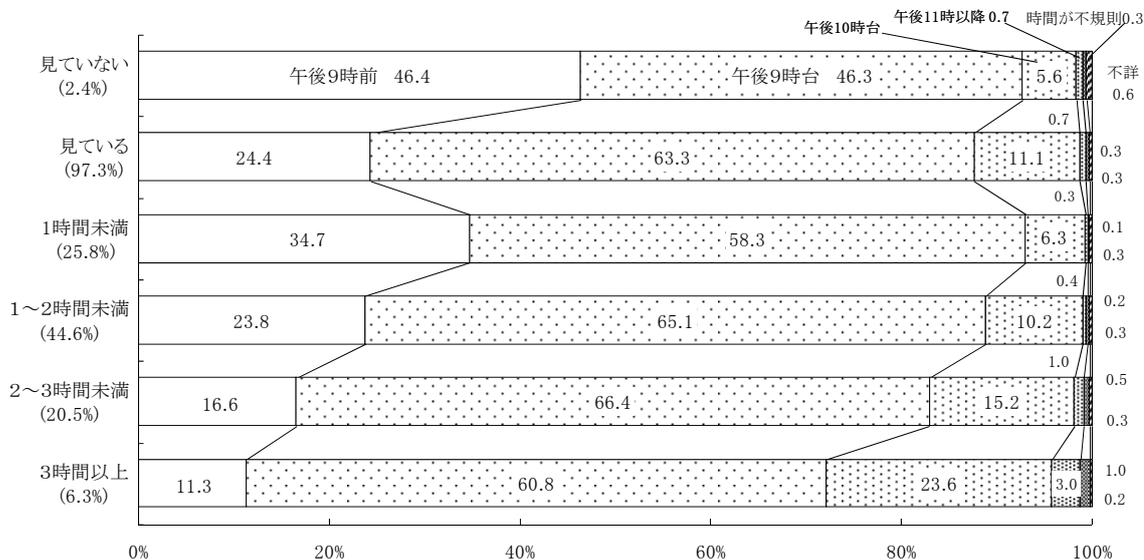
また、登校日にテレビを見ている時間別に就寝時間をみると、テレビを見る時間が「1時間未満」では「午後9時前」は34.7%であるが、「3時間以上」では11.3%とテレビを見ている時間が長いほど、午後9時前の就寝が少なくなっている。一方、テレビを見ている時間が長いほど「午後10時台」は多くなっており、「3時間以上」では23.6%となっている。（図13）

図12 第6回調査の時間別にみた第7回調査のテレビを見る時間の変化



注：第6回調査と第7回調査の回答を得た者、第6回調査「ふだんの日」と第7回調査「登校日」の両方でテレビを見る者（総数34,354）を集計。

図13 登校日にテレビを見る時間別にみた子どもの就寝時間



(5) コンピュータゲーム

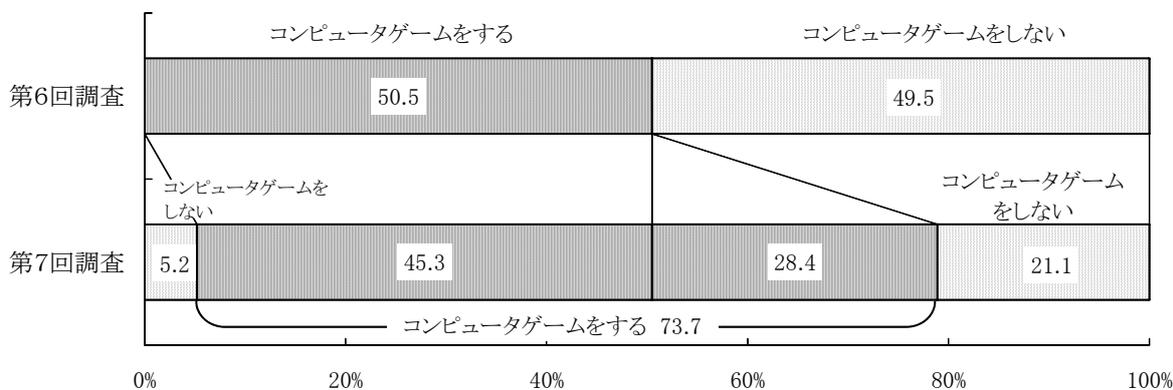
コンピュータゲームをする子は7割以上。

テレビゲームや携帯型ゲームなどの「コンピュータゲームをする」子は73.7%で、第6回調査の「コンピュータゲームをする」子と比較すると、23.2ポイントの増加となっている（図14）。

登校日にコンピュータゲームをする時間別に就寝時間をみると、コンピュータゲームをする時間が「1時間未満」では「午後9時前」は23.2%であるが、「2時間以上」では9.6%とコンピュータゲームをする時間が長いほど、午後9時前の就寝が少なくなっている。

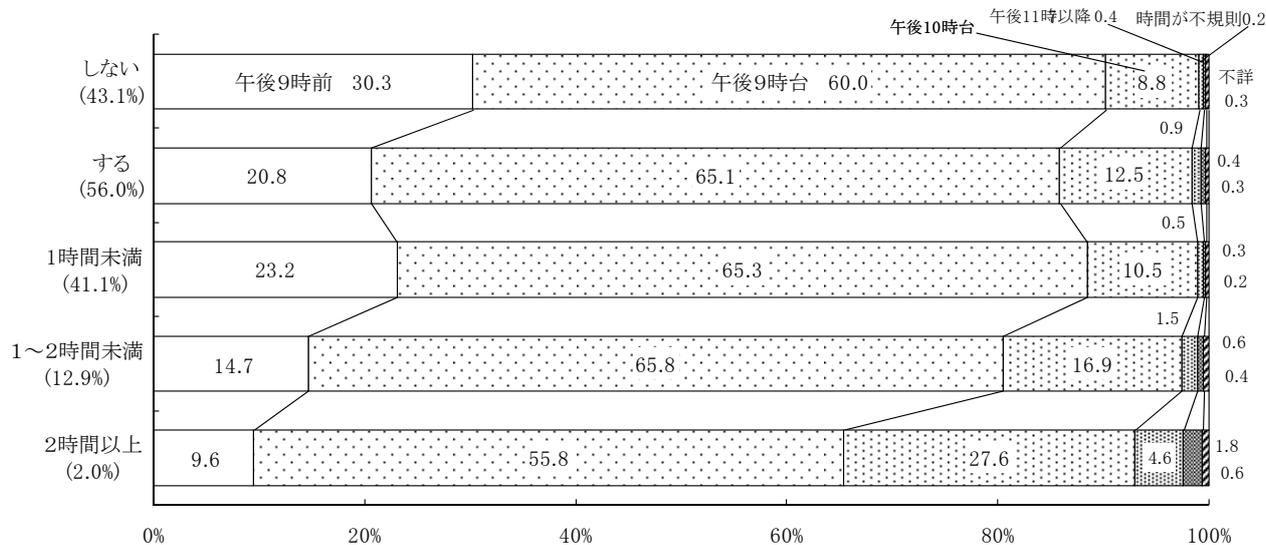
一方、コンピュータゲームをする時間が長いほど「午後10時台」は多くなっており、「2時間以上」では27.6%となっている。（図15）

図14 コンピュータゲームをする子の変化



- 注：1) 第6回調査と第7回調査の「コンピュータゲームをする時間」の回答を得た者(総数 35,065)を集計。
 2) 第6回調査では、「コンピュータゲームをする」は、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方する者である。
 3) 第7回調査では、「コンピュータゲームをする」は、「登校日」、「休日」のいずれか又は両方する者である。

図15 登校日にコンピュータゲームをする時間別にみた子どもの就寝時間



注：第7回調査の回答を得た者(総数 36,785)を集計。

(6) 病気やけが

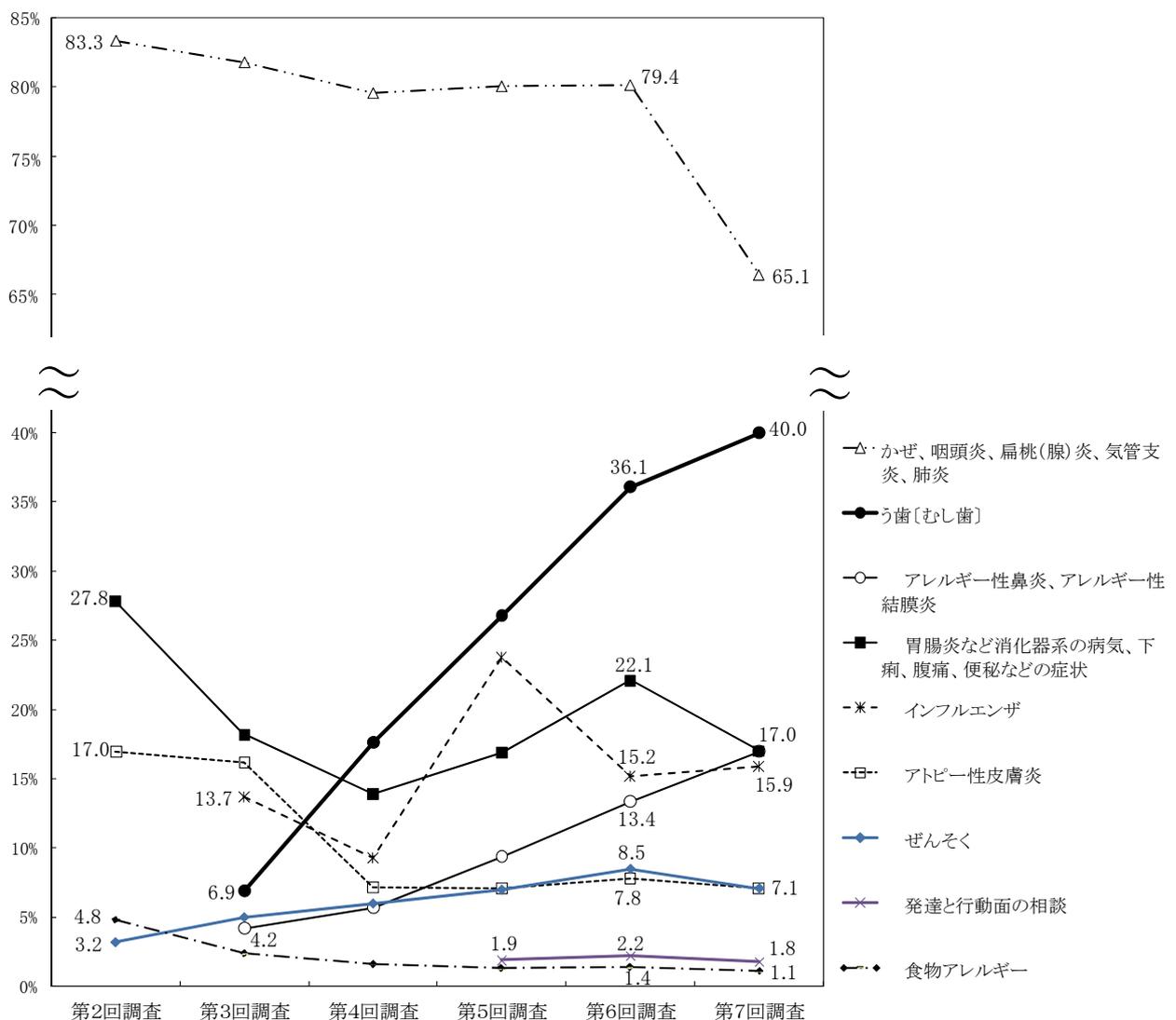
この1年半の間に「う歯〔むし歯〕」で病院や診療所にかかった子は40.0%。

この1年半の間（第6回調査からの期間）に病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）は「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が65.1%と最も多く、次いで「う歯〔むし歯〕」が40.0%となっている。

第2回調査からの推移をみると、第2回調査以降「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が6割以上と最も多くなっている。

また、「う歯〔むし歯〕」は第3回調査の6.9%から第7回調査の40.0%に大幅に上昇している。（図16）

図16 病院や診療所にかかった主な病気やけが(複数回答)の推移



- 注：1) 第2回調査から第7回調査まで回答を得た者(総数33,707)を集計。
 2) 第7回調査は1年半の間に病院や診療所などで診察を受けた状況である。
 3) 「かぜ、咽頭炎、扁桃(腺)炎、気管支炎、肺炎」は、第2回調査では「かぜ、気管支炎、肺炎」についてである。
 4) 「う歯〔むし歯〕」、「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」、「インフルエンザ」は、第2回調査では調査していない。
 5) 「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」は、第2回調査では「下痢、腹痛、便秘」である。
 6) 「発達と行動面の相談」は第2回調査から第4回調査では調査していない。

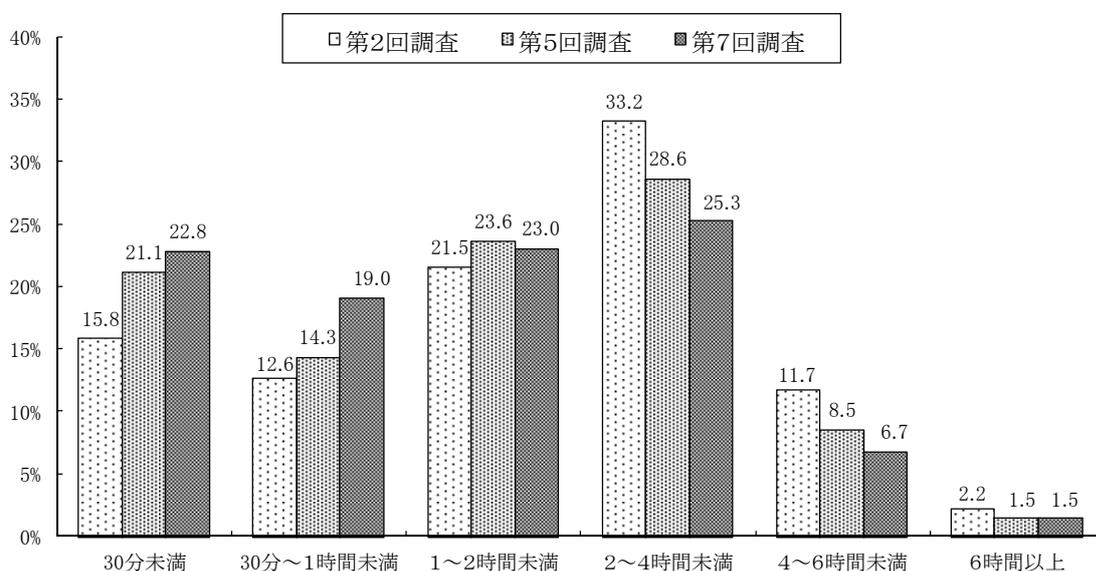
(7) 父の帰宅時間と父と過ごす時間

父の帰宅時間が早いほど、平日に子どもと一緒に過ごす時間は長い。

平日に父と一緒に過ごす時間の変化をみると、第2回調査、第5回調査、第7回調査ともに「2～4時間未満」とする割合が最も多く、それぞれ 33.2%、28.6%、25.3%となっている。次いで「1～2時間未満」、「30分未満」の順となっている。(図17)

また、帰宅時間別に平日に父と一緒に過ごす時間の割合が最も多いものをみると、「午後6時台」、「午後7時台」では「2時間～4時間未満」がそれぞれ 50.0%、45.8%、「午後8時台」では「1時間～2時間未満」36.0%、「午後9時台」では「30分～1時間未満」31.4%、「午後10時台」では「30分未満」47.9%となっている(表3)。

図17 平日に父と一緒に過ごす時間の変化



注：1) 父と同居している、第2回調査、第5回調査、第7回調査の回答を得た者(総数32,588)を集計。
2) 「30分未満」には、父と過ごす時間の「なし」を含む。

表3 父の帰宅時間別にみた平日に父と一緒に過ごす時間

(単位：%)

	総数	平日に父と一緒に過ごす時間						
		30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～4時間未満	4時間～6時間未満	6時間以上	不詳
総数	(100.0) 100.0	22.8	18.9	23.0	25.4	6.7	1.5	1.7
父の帰宅時間								
午後6時台	(12.4) 100.0	3.8	7.0	17.6	50.0	18.1	2.7	0.8
午後7時台	(17.3) 100.0	5.1	10.7	28.7	45.8	7.4	1.5	0.8
午後8時台	(16.2) 100.0	12.3	21.9	36.0	25.5	2.9	0.7	0.8
午後9時台	(13.9) 100.0	29.4	31.4	26.2	10.7	1.2	0.3	0.9
午後10時台	(11.7) 100.0	47.9	30.5	15.6	4.0	0.6	0.2	1.2

注：1) 父と同居している、第7回調査の回答を得た者(総数34,260)を集計。
2) 「30分未満」には、父と過ごす時間の「なし」を含む。

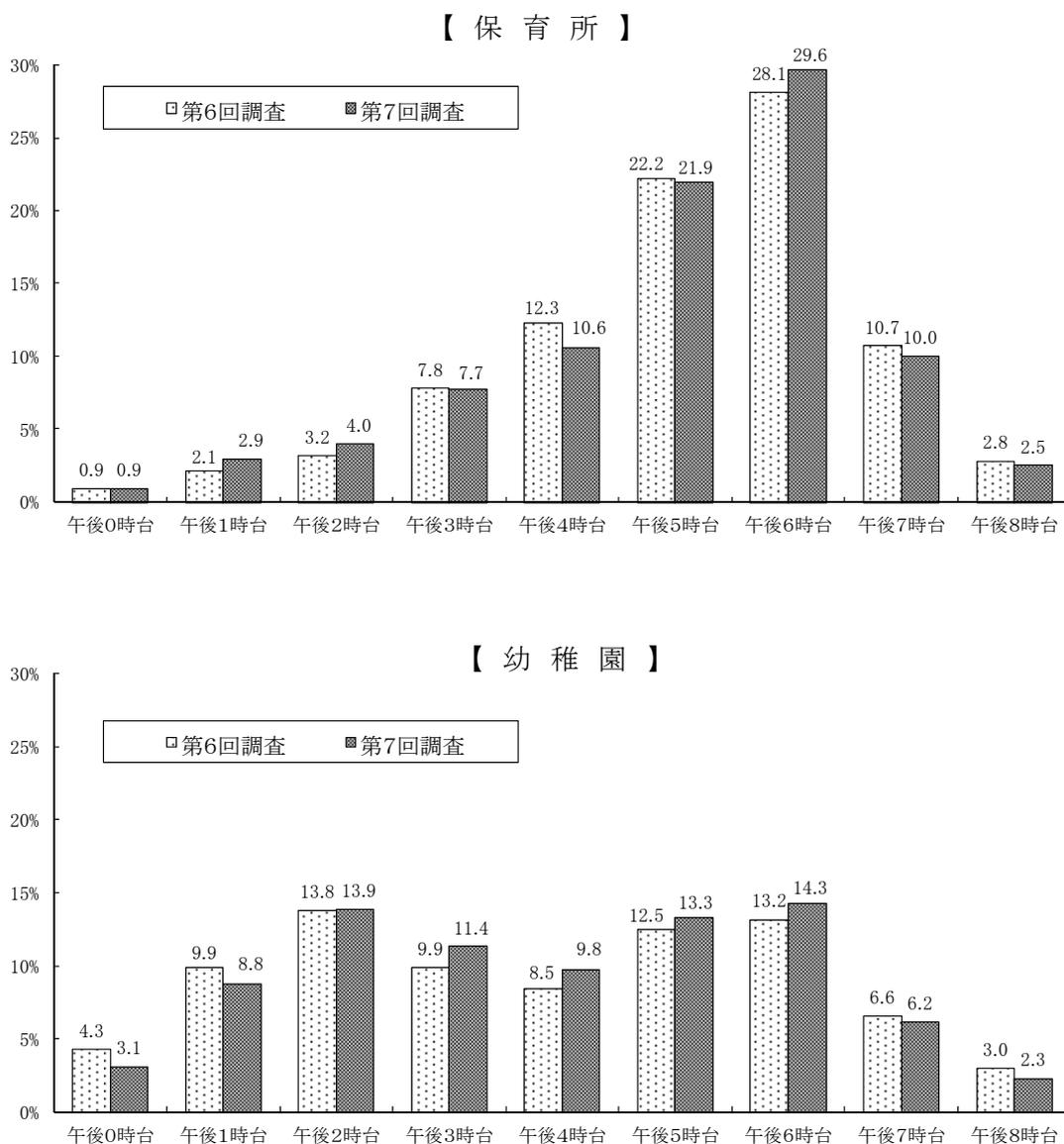
(8) 母の帰宅時間

母の帰宅時間では、第5回調査で保育所に通っていた子の母は「午後6時台」が最も多く、幼稚園に通っていた子の母は「午後6時台」と「午後2時台」が多い。

第5回調査の通園状況別に母の帰宅時間の変化をみると、保育所に通っていた子の母では第6回調査、第7回調査ともに「午後6時台」が最も多く、それぞれ28.1%、29.6%となっている。次いで「午後5時台」、「午後4時台」の順となっている。

幼稚園に通っていた子の母をみると、第6回調査では「午後2時台」13.8%、「午後6時台」13.2%、第7回調査では「午後6時台」14.3%、「午後2時台」13.9%となっている。(図18)

図18 第5回調査の通園状況別にみた母の帰宅時間の変化



- 注：1) 第5回調査から第7回調査まで回答を得た、第6回調査と第7回調査で母と同居している者のうち、母の就業状況が「有職」と「学生」の者(総数15,664、「保育者」9,957、「幼稚園」4,750)を集計。
 2) 第5回調査時の通園状況は、「保育所」は「保育所のみに通っている」、「幼稚園」は「幼稚園のみに通っている」である。